

# 第69回 弘明寺サロン

この度は外部講師をお招きし、横浜の近代産業勃興期につての講演会です。皆様多数のご参加をお待ちしております。

事前申し込みは不要です。同窓会会員以外の方の参加を歓迎いたします。

日時 2019年11月7日(木) 13:00~15:00

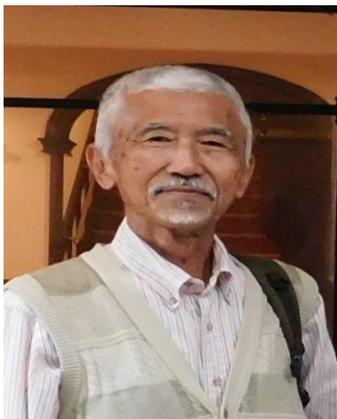
場所 神奈川学習センター 第3講義室

演題 **横浜近代産業の始まり**  
**—ジェラールと仏蘭西瓦—**

幕末の開国・開港によって横浜には外国の多くの文物が入り、関内地区や山手地区には従来の木造建築に替わって、石造や煉瓦造の洋風建築が建ち並ぶようになる。いままでみたこともない赤色の煉瓦造建築などは、当時の人々の目に「文明開化」を象徴するものとして映ったことであろう。

こうした新しい洋風建築を特徴づけたのは、煉瓦や西洋瓦といった建築材料である。幕末の開港間もないころに来日した一人のフランス人によって明治初年に最初の仏蘭西瓦が作られるようになる。それは横浜における近代産業の始まりでもあった。

## 講師 坂上 克弘氏



1971年 横浜市埋蔵文化財調査委員会港北ニュータウン埋蔵文化財調査団入団。

港北ニュータウン遺跡群の発掘調査に携わる

1992年 (財)横浜市ふるさと歴史財団設立

同財団埋蔵文化財センターにて、港北ニュータウン遺跡群の整理研究作業

2007年 埋蔵文化財センター所長を退職

横浜市三殿台考古館を管理・運営

2010年 横浜市三殿台考古館退職。以後は 横浜市の近代遺跡・遺物の調査研究に携わっている。

この企画に対するお問い合わせ サロン担当 高橋照夫  
e-mail [nsjxw765@ybb.ne.jp](mailto:nsjxw765@ybb.ne.jp)

主催 神奈川同窓会